

出生前検査についての経験

アンケート用紙では、これまでの妊娠経験(5回まで)を尋ね、出生前検査については、一番最近の妊娠、あるいは、それ以前の妊娠でも、妊娠の経験を詳しく記入できる場合は何度目の妊娠かを指定してもらったうえで、その妊娠経験での検査に関する経験を尋ねています。

出生前検査について回答した妊娠回について

出生前検査の経験については、原則として一番最近(直近)の妊娠の経験について回答してもらうこととした。ただし、直近の妊娠ではなく、それ以前の妊娠の方が、その妊娠の経験を詳しく記述できる場合は当該妊娠の経験を回答してもらうようにした(ただし、医療機関調査と保育園調査では質問の仕方がやや異なっている)。

出生前検査の回答に先立ち、どの妊娠回を回答するかを確認したところ、医療機関調査では、90.4%が直近の妊娠となったが、保育園調査では、73.8%であった。直近以前の妊娠回を選択する場合には、本人にとっての初めての妊娠経験の回を指定する者が多かった。

医療機関 出生前検査について回答した妊娠回



n=156

保育園 出生前検査について回答した妊娠回



n=378

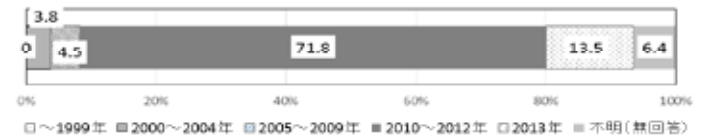
出生前検査について回答した妊娠の時期

出生前検査の経験について回答してもらった妊娠回は、いつ頃であったのか、妊娠開始年を5年区分でみると、医療機関調査では、2010年～2012年が71.8%と多く、調査当年の2013年は13.5%となっており、2010年代の経験を回答した者が8割となっている。

保育園調査では、2010～2012年が44.2%、2005～2009年が34.7%と多い。2010年以前が約4割となっており、両調査では、出生前検査について回答している妊娠時期が異なっていることに注意が必要である。

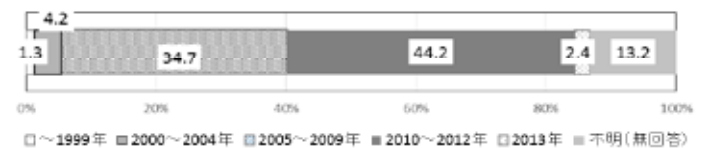
妊娠していた時期が前であるほど、妊婦が受けることが可能な出生前検査の種類も少なく、また検査の精度の違い(たとえば、超音波検査で確認できることの異常の種類)や、検査のガイドラインも異なっていることに留意が必要である。

医療機関 出生前検査について回答した妊娠の時期



n=156

保育園 出生前検査について回答した妊娠の時期



n=378

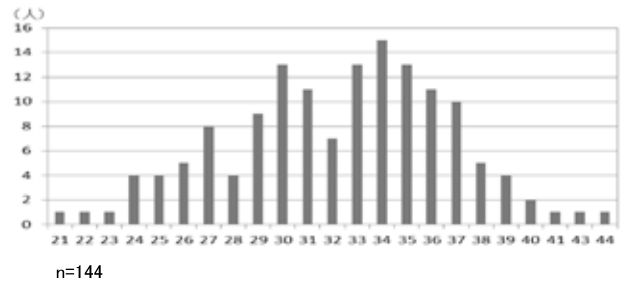
出生前検査について回答した妊娠時の年齢

出生前検査の経験について回答してもらった妊娠回の妊娠時年齢(妊娠開始時点の年齢)についてみると、平均は医療機関調査では、32.3歳(範囲21~44歳)、保育園調査では32.2歳(範囲18~43歳)であった。

回答妊娠時に35歳以上だった人は、医療機関調査では33.3%、保育園調査では34.0%である。

妊娠時の年齢によって出生前検査の経験がどのように異なるか、詳細は今後の課題であるが、妊婦の年齢によって、検査について(詳細に)説明するかどうかなど、医療者の接し方も異なることが多く、結果をみていく際に注意が必要である。

医療機関 出生前検査について回答した妊娠時の年齢



保育園 出生前検査について回答した妊娠時の年齢

